

(奈良県)

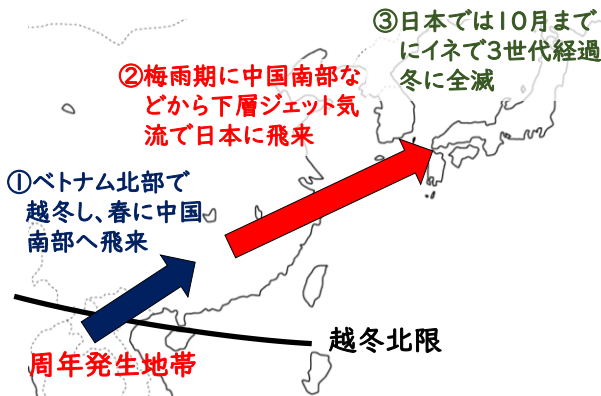
トビイロウンカの防除技術

1. トビイロウンカの発生生態

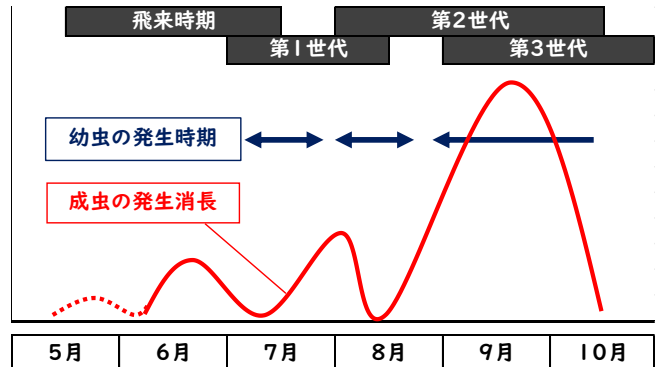
- 梅雨の時期に飛来し、3世代かけて増殖した後、主に秋に坪枯れが発生します。
- イネでしか増えません。
- 寒さに弱く、国内で越冬できません。



トビイロウンカによる坪枯れ→



トビイロウンカの海外飛来



トビイロウンカの発生パターン

- 近年、飛来量が急増しています。
- 8月が高温・乾燥になると急増します。



トビイロウンカ成虫の飛来量の年次推移

2. 防除のポイント

- 薬剤抵抗性が発達しており、効かない剤があります。
- 増えてからでは手遅れです。少ないうちから予防しましょう。
- 坪枯れを起こすのは主に第3世代です。第2世代幼虫期までに確実に防除しましょう。

田植え時 (飛来～第1世代)

効果の高い箱粒剤で予防を

- 田植後の多飛来に備えます。
- 効果の高い剤なら出穂前まで残効があります。

出穂前 (第2世代の幼虫)

増加前に仕上げ防除を

- 多発生年は出穂前に確実に処理します。
- 少発生年はカメムシ防除優先で。

箱粒剤

- 有効成分にトリフルメゾピリムを含むもの
フルスロットル、スクラム、ハコガード、ゼクサロンなど
- その他
リディア、アレスなど

粒剤 (使用上の注意の水深で)

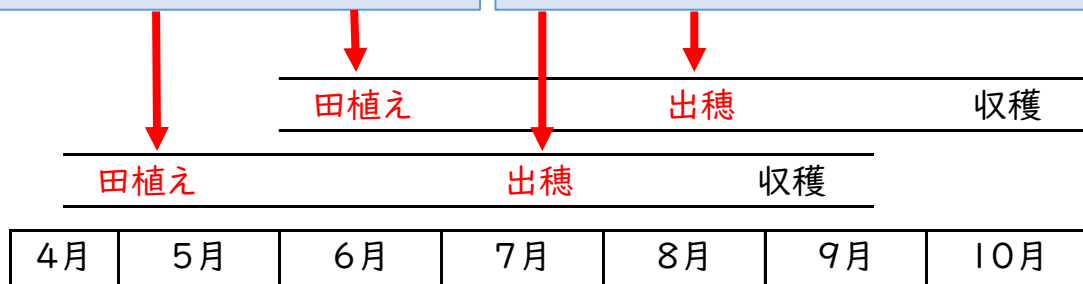
スタークル、アルバリン、ゴウケツモンスターなど

散布剤 (株元にかかると)

エクシード、エミリア、トレボンなど

中生水稻

早生水稻



※ 薬剤は、このほかにも同じ有効成分を含む様々な商品名のものがあります。
農薬販売店に相談して、他の病害虫との同時防除も考慮して選んでください。

3. 発生情報の入手先

- 奈良県病害虫防除所HP (病害虫発生予察情報の掲載)

<http://www.jppn.ne.jp/nara/>

- 奈良県LINE (注意報発表の案内)

<https://line.me/R/ti/p/%40688bjyqz>